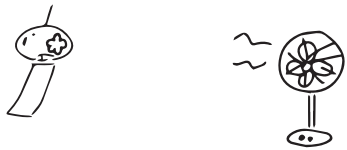


# Youth Manna

## 2021/7/12 - 7/18



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/7/12(月)

### Ⅱ 歴代誌 18:1-11

ヨシャパテは主の道に励み、高き所とアシェラ像をユダから取り除き(17:6)、富と誉が豊かに与えられた王だった。

そんな中、彼は北イスラエル王国のアハブと関係を持った。アハブは、自分の意見に共感してくれる預言者だけを求めている。集められた400人の預言者は、アハブと同じ意見を持ち味方する存在だったのだろう(6)。また、彼は自分にとって悪いことばかり預言するから、という理由でイムラの子ミカヤを憎んでいた(7)。

例えば、私たちが教会の兄弟姉妹に何かを相談して、自分が望んでいた答え、共感を得られなかったらどう思うかな？もし、返ってきた答えや反応が自分の望んでいたものではなかったとしても、もしかしたらそれが神様のみこころかもしれない。悩んだとき、判断に迷うとき、神様にみこころを聞き、また自分の思いを明け渡すことができるようにお祈りしよう！

2021/7/13(火)

### Ⅱ 歴代誌 18:12-34

預言者ミカヤは最初、他の預言者たちと同じことを語るけど、これはミカヤがあえて偽りを語ったのであって、アハブ王はそれを見破って本当のことを語るように促したよ(15)。ミカヤはアハブに下るわざわいを語り、その結果牢獄につながってしまったね。そして、ミカヤの預言によって警告を受けたにも関わらず、アハブとヨシャパテは戦いに出かけたよ。神を恐れるヨシャパテ王がなぜ、ミカヤの預言を聞いておきながら、戦いに出て行ったのかは、考えさせられるところだね。

今日の箇所から、神様が君に語られたことは何だろう？自分の中には、神様に聞き従うことよりも、優先してしまうものはないだろうか？今静かに神様に心を向けて祈ろう。

2021/7/14(水)

### Ⅱ 歴代誌 19章

ヨシャファテは、国全体の信仰改革に熱心に取り組んだ王だが、異教のアハブ王と関係を結ぶという深刻な問題を起こしていた。先見者エフーを通して、神はそれを厳しく叱責した。ヨシャファテはその宣告を真摯に受け止め、二つのことを行なった。一つは、北王国の民に向かって呼びかけたことである(4-7)。イスラエルの民全体が主への信仰を歩むことを願って取り組んだ。二つ目は、南王国において、社会全体が主のもとにあるように、制度を整えていったことである(8-11)。ヨシャファテのこの取り組みは、大いに価値のあるものとして記録された。

学校、社会で信仰を持って歩むときに、なすべきことは何かを神様に祈り、聞いてみよう！

2021/7/15(木)

### Ⅱ 歴代誌 20:1-19

今日の箇所は、ヨシャファテが王であった時の話である。

ユダ王国を大軍を率いてやってきた敵に対して、父アサ王は他国にお金を送って助けを求めた(16章)のに対して、ヨシャファテ王は神様に全てを委ね、助けを求める選びをした。全ての民も断食し、主に願い求めた。そして、神様はその祈りを聞き入れ、「あなたが戦うのではない... 主の救いを見よ」(17v)と約束されたのである。

私たちは日頃から神様に全てを委ね、求めているだろうか？ただ必要と感じた時にだけ祈っていることはないだろうか？いま一度普段の生活を考えて見よう。

虹の日(なないろ) 2021/7/16(金)

### Ⅱ 歴代誌 20:20-37

【戦いの日の朝】ヨシャファテたちは主への信仰を改めて確認し、賛美をした。武器や戦術の確認ではなく、主を信頼することに全力を注ぐことを選んだんだ。

【戦い】何とユダを攻めに来た民は仲間割れをした。その日、ユダの人々は主の言葉通りに(17)主の救いを見た。

【戦いの直後】ユダの民は主なる神をほめた。たえた！主は戦いの恐怖を取り去り、平和を与えてくださった！

【戦いのしばらく後】ヨシャファテは良い王様だったが、悪王アハブと手を結んでしまう。一度痛い目にあって預言者から止められたはずなのに...(19:1-3)。

▶賛美をして感動しても、時間が経つと私たちは主を忘れ、元の生活に戻ってしまう。明日も聖書を開き、祈ろう！

2021/7/17(土)

### 使徒 13:1-12

アンティオキア教会で礼拝をしている時にバルナバとサウロ(パウロ)を宣教のために送り出すようにと、聖霊が語られたね。この時のバルナバとサウロは、今の教会にとっての牧師やスーパーバイザー、責任役員みたいな、特に中心となっていた人たちだった。その最重要とも言える2人を教会から送り出すって、とても勇気のいる決断だね。

だけどアンティオキア教会の人たちは祈りをもって、彼らを送り出した。聖霊の語りかけを信じて従ったんだ。自分たちだけが救われてよしとせず、他の人々の救いのために2人を送り出したんだね。もちろんパウロとバルナバの旅は簡単なことじゃなかった。だけど聖霊が行く場所で働かれることを私たちはこれからの箇所で見ることが出来る！私たちは聖霊が語られることに耳を傾けているかな？それに従おうとしてるかな？思いめぐらしてみよう！

2021/7/18(日)

### 使徒 13:13-25

神様はパウロの文化背景や立場、能力が最も活かされる場として会堂での宣教に導かれました。会堂にはその地に住むユダヤ人と異邦人からの改宗者、また「神を恐れる方々」と呼ばれる人々が集っていました。この人たちは改宗には至ってはいませんが、共通して彼らはすでに聖書の世界観を持っていて、救い主、メシアの来臨についても知識を持ち、待ち望んでいました。そこに集まった人たちは今後のパウロたちの宣教に大きな鍵を握る人たちとなりました。

神様はあなたをどういう場所に導いておられるでしょうか？神様が導いて下さる場所はそれぞれに与えられています。祈りの中で神様に聞いてみよう！